

平成20年4月8日

各位

会社名 株式会社レナウン  
代表者 代表取締役社長 中村 実  
(コード番号 3606 東証第一部)  
問合せ先 経営企画室広報担当部長  
伊東 甲二  
(TEL: 03-5496-8485)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年1月15日に公表いたしました平成20年2月期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

1. 20年2月期業績予想数値の修正（平成19年3月1日～平成20年2月29日）

#### (連結)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	175,500	△2,400	△2,100	△3,800
今回修正予想(B)	175,600	△2,200	△2,100	△8,100
増減額(B-A)	100	200	—	△4,300
増減率(%)	0.05%	—	—	—

#### (単体)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	90,400	△1,800	△1,800	△1,600
今回修正予想(B)	89,700	△1,800	△1,700	△8,800
増減額(B-A)	△700	—	100	△7,200
増減率(%)	△0.7	—	—	—

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値が異なる可能性があります。

## 2. 修正の理由

### <連結>

売上高及び営業利益はレリアンの販売好調により前回予想を上回る見込みであります。

特別利益としてアジアにおける事業展開の戦略的見直しの一環として実施した持分法適用会社である D' URBAN CHINA DISTRIBUTIONS (B.V.I.) LIMITED 株式の譲渡益及び「KENT&CURWEN」の中国・香港・マカオ・台湾における商標権譲渡益計約1,600百万円を計上する予定であります。

当社は、現在、不採算ブランドの統廃合を始めとした実現性の高い抜本的事業構造改革プランの策定作業を進めております。

特別損失として上記抜本的事業構造改革に伴う損失見込み額約5,500百万円、関係会社に対する貸倒引当金約300百万円を計上する予定であります。従いまして、当期純利益は前回予想を大きく下回る見込みであります。

### <単体>

冬物商戦が低調に推移し、売上高については、前回予想を若干下回る見込みではありますが、売上高の減少による売上利益の落ち込みを販売管理費の圧縮で補い、営業利益、経常利益はほぼ前回予想通りの見込みであります。

なお、特別利益として持分法適用会社である D' URBAN CHINA DISTRIBUTIONS (B.V.I.) LIMITED 株式の譲渡及び「KENT&CURWEN」の商標権譲渡益計約2,100百万円を計上する予定であります。

特別損失として今後実施予定の上記抜本的事業構造改革に伴う損失見込み額約5,500百万円、関係会社に対する貸倒引当金約400百万円に加え、ロンドンアクアスキュータムの株式評価損約3,600百万円を計上する予定であります。ロンドンアクアスキュータムにつきましては、ブランド再生実現に向けた施策としてグローバルキャンペーン、販路拡大等を積極的に展開しておりますが、いずれも先行投資的な要素が強いため、同社の業績としては損失計上を余儀なくされることとなっております。かかる理由から、当社保有株式についても、過年度の損失計上に伴う同社資本の毀損を考慮し評価損の計上を行うものであります。従いまして、当期純利益は前回予想を大きく下回る見込みであります。

以上から、当社の通期業績予想を標記のとおり修正いたします。

以 上